

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	子ども発達支援センターからふる（保育所等訪問支援事業）			
○保護者評価実施期間	2024年12月9日		～	2024年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	2024年12月9日		～	2024年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○訪問先施設評価実施期間	2024年12月9日		～	2024年12月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	10施設	(回答数)	10施設
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験の豊富な保育士を配置し、子どもたちの発達特性に合わせた支援を提供することができます。	子どもの発達特性を把握し、楽しみながら取り組めるプログラムや分かりやすい支援方法を考えて提供しています。保護者には支援内容を丁寧に伝えるようにしています。	スムーズな連携と情報共有ができるように、保護者・訪問施設と信頼関係を構築していきます。
2	訪問先の施設での困りごとについて、本体事業の児童発達支援センターの職員と連携しながら解決策を提案することができます。	特性により生じてくる困りごとを、合理的配慮のより解決する手段を検討し、訪問先の状況に合わせて提案するようにしています。	保健師や相談支援専門員との連携も継続して行っています。
3	訪問支援の実績があり、訪問先施設との連携が深まっています。	できるだけ訪問施設の先生方と話す機会を作り、支援の様子を丁寧にお伝えするようにしています。	事業の制度のことや、支援のことについても情報提供できると、相互理解がより深まり意義のある保育所等訪問支援事業が提供できると思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援事業のしくみをわかりやすく伝えられていません。	長年の支援の実績があることから、訪問施設に理解していただいていると思い込んでしまっており。制度的な事項を改めて説明する必要があったと思います。	保護者には契約や面談などの際に、訪問施設には療育開始の際に、訪問支援の仕組みや訪問の目的などについて丁寧に説明することを心がけたいと思います。
2			
3			

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	子ども発達支援センターからふる 保育所等訪問支援事業	公表日 2025年 2月 10日
------	----------------------------	------------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境 制・ 整 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		教具の内容を子どもに合わせて数などを調節したり、作り教材を使用しています。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		終礼で簡潔だが当日の振り返りを行っています。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	評価結果を業務改善に繋げていますが、第三者による外部評価は未定です。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○	保護者の希望により支援計画をお渡ししているので支援計画が訪問先の園で共有できている所とできていない所があります。 事前に保護者に確認を取り、全ての園に支援計画が共有できるようにしていきます。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメント以外に新版K式発達検査等の発達検査の結果なども参考にしています。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	訪問支援員が個々で支援を行っているため、支援が偏らないためにセンター職員と意見交換する時間をもつ工夫をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	訪問支援員が個々で支援を行っているため、センター職員と意見交換する時間をもつ工夫を
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		気になった様子や反応などを個別の訪問記録に記載するようにしています。
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		○	法人や事業所で行う研修には参加していますが、保育所等訪問支援に特化した研修には参加できていません。訪問支援の質を更に高めていくために、訪問支援員が研修会に積極的に参加できるように配慮します。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		○	個別指導や個別面談以外で保護者からお話を伺うことはありません。SNSなどを活用して個別指導や面談以外にも、お子さんの状況について情報交換する機会が持てるように努めます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		できるだけわかりやすい言葉を使って説明するようにしています。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		事業の周知はされてきていますが、園によっては理解が不十分だと感じることもあるので改めて説明させてもらうことも検討していきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	訪問後のフィードバック等を通して、保護者の方が必要とされている研修や情報を把握し、家族参加型の研修会や交流会等の企画を検討していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	保育所等訪問支援事業について発信する機会がないため、今後はHPやSNSの活用も検討していきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		課題の内容をわかりやすく伝えたり、課題リストを活用し見通しが持てるような工夫をしています。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		その都度、ご相談に応じるように努めています。内容によってはセンター職員と連携して適切な回答ができるように努めています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		支援実施後に、支援内容やお子さんの様子について情報交換するように努めていますが、更に深めた情報交換ができる機会をもつことも検討していきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		支援内容やお子さんの様子については、連絡帳を使って情報提供しています。個別指導はできるだけ保護者の方に同席をお願いしています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		